

## インターバンクの声（2017 年 7 月 25 日）

昨日の東京市場や海外市場のように、相場が動くきっかけとなる材料に限られる日はディーラーにとっては非常に厄介だ。東京の朝方、トランプ米政権の先行き不安などから安全資産となる円買いが優勢になりそうだと予想はついたが、東京市場の午後になって円が売り戻されるのを見てしまうと、16 時頃の欧州勢がユーロやポンドを動かし始めたと同時に、急に円買いに動き出した局面に付いて行くのは無理だった。

ましてや自分のようにポジションがドルの買い持ちになってしまっている場合には、ロス・カットすべきか耐えるべきかの判断も難しく、昨日はたまたま 110 円 60 銭台からドルが反発してくれたが、あのままドル売りが進めば損切りが大幅に遅れてしまう最悪の結果になるところだった。

原油価格が 16 時頃から上昇し始めていたが、最近原油価格の変化が必ずしも円相場に反映されるわけではなく、単純に原油価格の変化についていくのも危ない時がある。今日の東京も昨日と同じような水準から始まるが、昨日とは違って一旦ニューヨーク市場での高値 111 円 31 銭越えを狙うような展開を想定してみたい。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。